

桑名市立小中学校における遠隔学習支援システム導入等業務委託に係る
公募型プロポーザル基本方針

1. 事業の目的

本事業の目的は、桑名市立小中学校において、情報通信技術（ICT）を活用した新たな教育環境を整備することにより、児童生徒の「情報活用能力」の向上を目指すものである。

2. 公募型プロポーザル方式を採用する理由

本事業は、機器の調達のみならず、当該機器を活用した教材としてのデジタルコンテンツ及び運用方法等について、民間事業者からアイデアを募集し、市内小中学校におけるICTの教育活用を推進しようとするものである。このため、価格のみで選定する競争入札では期待した成果が得られないなど、所期の目的を達成できないおそれがあることから公募型プロポーザル方式を採用する。

3. 期待される効果

価格のみで選定する競争入札では、機器の導入のみに終始し、その活用、運用方法は、教育現場で指導する教職員の負担になりかねない。今回、公募型プロポーザル方式を採用し、提案機器の性能・スペックに見合った活用方法、デジタルコンテンツの作製、保守などパッケージとして提案をいただくことで、教育現場での円滑な導入と教職員の負担軽減等に寄与するものと期待される。

4 事業スケジュール（予定）

契約手続 12月上旬から12月下旬

契約締結 12月26日 ※予定

着手・事業展開 1月9日から ※予定

5 審査方法

審査委員会を設置し、企画提案書の内容とプレゼンテーション等により、本事業の趣旨の理解度、事業計画、価格等について総合的に判断し、優先交渉権者を決定する。